

公 民 [倫 理] (100 点 50 分)

2007年12月13日(水)2限実施

千葉県立千葉東高等学校 第3学年 1,2,3,4組

Edited by K.Kataoka ©

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

学年、組、名前を記入する。

学年、組の該当個所をマークする。

出席番号をマークする。(10番以上は10の位と1の位の2カ所)

男女の欄をマークする

1.2.3枚目のところはマークしない。

停・欠・遅・早のところはマークしない。

機械の読みとりミス確認のため、解答欄はマークの左側に番号を記入しておく。

以上が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

倫 理

(解答番号 [1] ~ [50])

第 1 問 次の文章を読み下の問い (問 1 ~ 問 8) に答えよ。(配点 20)

仏教が真の意味で民衆の宗教として確立したのは鎌倉時代だった。いわゆる鎌倉新仏教の成立である。念仏門の系統から、まず法然が日本浄土宗を開いた。法然は『 [1] 』を著し、富と知識を独占する貴族しかできない造寺・造仏・学解・持戒などの意義を退け、往生の要諦は [A] で、これにより人びとは貴賤・男女の差別なく在家の生活のまま往生できると説いた。法然の教えをさらに徹底化したのが、浄土真宗を開いたその弟子親鸞である。師の法然がおもに京都で活躍したのに対し、親鸞は晩年こそ京都に帰ったが、越後に流されたあと妻帯し、そののち関東に移り、東国辺地の農民や下級武士に法を説いた。彼は往生の当否は称名よりも、阿弥陀仏への絶対的な信心にあるとし、しかも (a) 『歎異抄』のなかで [B] と、絶対他力と悪人正機の説を述べた。法然・親鸞におくれて元寇のころ、念仏門に新境地を開いたのが、時宗の宗祖一遍である。一遍は、念仏往生の鍵は信心の有無、浄や不浄、貴賤や男女に関係するのではなく、すべてを放下(ほか)し、空の心境になって、名号(念仏)と一体に結縁することにあると説いた。一遍は生涯を廻国遊行の旅に過ごし、念仏に結縁した人びとに往生決定の証明として念仏を書いた紙の札を与え(賦算)、彼らに阿弥号をつけた。彼らは賦算と阿弥号をうけ、生きながら阿弥陀仏と一体となると信じた。一遍が遊行し賦算するところ、[2] がひろがり、これが時宗の特色となった。一遍と同じころ、東国で日蓮が日蓮宗を開いた。日蓮は法華経だけを唯一の正法と認め、この法華経の眼目が「南無妙法蓮華経」の題目であるとし、法華経への唯一絶対の信心をもとに、専持法華と唱題だけで、すべての人びとが差別なく成仏できると説いた。しかも日蓮は、彼岸での救済よりも、(a) 『立正安国論』で明示したように、正しい仏法が興隆すれば国土の災害除去は可能であると、現実国土の世なおしや現世での救済を重視し、この教説における強卑な現世性がこの宗派の特色となった。

以上述べたように、浄土宗・浄土真宗・時宗・日蓮宗は、それぞれ教説に特色をもつが、その反面でいくつかの共通点ももっていた。一つは諸経や諸仏や諸行のなかで、4宗とも一つの経、一つの仏を選びとって、余仏・余経・雑行を徹底的に排し、念仏や題目を専修することを主張する、いわば「一筋の信仰」だった。二つには4宗とも貴賤・男女・貧富の差別なく、殺生を業とする悪人さえ往生や成仏を認める徹底した [3] だった。三つには、したがって奈良・平安の貴族仏教が重視した戒律の意義を認めず、民衆の日常生活のなかで信仰が維持できるよう、易行にして、在家成仏の仏教だった。四つにはこれら4宗の寺には、旧仏教や禅宗の大寺のように、創建当初から朝廷や幕府の官寺や祈り所として七堂伽藍を整備し、寺領寄進をうけて出発した寺はなかった。五つには、旧仏教や (b) 禅宗 が宗

祖によって中国から将来された仏教だったのに対し、これら4宗の宗祖、法然・親鸞・一遍・日蓮は留学求法の意志もまたその経験もなく、経典や聖教を模索して教説の体系を形成した歴史をもち、この意味では鎌倉時代の日本がその社会のなかで育て上げた日本仏教ともいうべき宗教だった。

問1 文章中の空欄〔1〕～〔3〕に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの～のうちから一つずつ選べ。

- | | | | |
|-----|---|---------|------|
| 〔1〕 | 〔 | 観無量寿経疏 | 教行信証 |
| | | 選択本願念仏集 | 往生要集 |
| 〔2〕 | 〔 | 歌舞伎踊 | 庚申請 |
| | | 踊念仏 | 法華講 |
| 〔3〕 | 〔 | 呪術宗教 | 貴族宗教 |
| | | 民衆宗教 | 自然宗教 |

問2 空欄〔A〕に入る文として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。

〔4〕

- 阿弥陀仏を信じて、修行を怠らないこと
- 阿弥陀仏を信じて、浄土三部経を読誦すること
- 阿弥陀仏を信じて、念仏だけを唱えること
- 阿弥陀仏を信じて、如来像を礼拝すること

問3 下線部(a)『歎異抄』の編者として最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。〔5〕

蓮如 善導 懷奘 唯円

問4 空欄〔B〕に入る二つの引用文a～dの組み合わせとして最も適当なものを、次の～のうちから一つ選べ。〔6〕

- a 「善人なをもて往生をとぐいはんや悪人をや、しかるに世のひとつねにいはいく、悪人なを往生す、いかにいはんや善人をや」
- b 「人々皆仏法の器なり、かならず非器なりと思うことなかれ。依行せば必ず得べきなり。」
- c 「忿を絶ち、瞋を棄てて、人の違うことを怒らざれ。われ必ずしも聖にあらず、かれ必ずしも愚にあらず、ともにこれ凡夫のみ。」
- d 「願をおこしたまふ本意、悪人成仏のためならば、他力をたのみたてまつる悪人、もともと往生の正因なり」

aとb cとd cとb aとd

問5 下線部(a)『立正安国論』に関する記述として適当でないものを，次の ~ のうちから一つ選べ。[7]

日蓮が当時の鎌倉幕府の権力者北条時頼にその著作を提出したが，政治批判と見られ伊豆に流罪となった。

当時の災害の原因を，人々が正法である法華経を信じずに浄土宗などの邪法を信じているからであるとしてその著作の中で非難した。

その著作の中で，法華経を国家の中心にすれば国家も国民も安泰となって極楽往生ができるかと唱えた。

その著作の中で，このまま浄土宗などを放置すれば国内では内乱が，外国からは侵略を受けると主張した。

問6 日蓮が四箇格言のなかで，非難した宗派として適当でないものを，次の ~ のうちから一つ選べ。[8]

律 宗 真言宗 天台宗 禅 宗

問7 下線部(b)に関連して，1168年と1187年に栄西が訪れた頃の中国の王朝として，最も適当なものを，次の ~ のうちから一つ選べ。[9]

元 北 宋 唐 南 宋

問8 日本における曹洞宗の開祖道元の思想をあらわす言葉として適当でないものを，次の ~ のうちから一つ選べ。[10]

只管打坐 自然法爾 修証一等 身心脱落

第2問 次の文章を読み下の問い(問1～問8)に答えよ。(配点 20)

近世儒学は漢宋折衷学や禅儒という不徹底な身分からの脱却を通じて成立した。その運動の先頭に立ったのが(a)藤原惺窩であり、その弟子の(b)林羅山、松永尺五、羅山の批判者(c)中江藤樹らがそれに続く。近世の儒者は一般に[A]であった。ところで近世初期の儒者は朱子学者羅山を除いてみな宋明新儒学の受容のうえに成立した心学、心法の学ともいべき実践的性格の濃い儒教を奉じた。その後山崎闇斎の出現とともに、朱子学が本格的に理解され受容され始めた。闇斎の学風は朱熹から李退溪の系譜を引くもので、価値的観点の強い義理の学であり、その弟子浅見綱斎、佐藤直方を通じて[11]学派という朱子学の一派が形成されてその学統は今日に及んでいる。

ところで日本の儒学の特色の一つは朝鮮の場合のように一つの学派が圧倒的に支配するというのではなく、多様な学派が併存して相互に刺激しあったことであって、朱子学派の中でも経験主義的性格の濃い(d)貝原益軒、新井白石、ならびに山片蟠桃らの懐徳堂学派の人々があり、朱子学を批判した者には藤樹の弟子の熊沢蕃山や大塩平八郎らの陽明学派、ならびに陽明学をも含めて宋・明の新儒学を批判してただちに孔孟の学に戻ろうとした山鹿素行、伊藤仁斎・東涯、荻生徂徠、太宰春台らの古学派、ならびに多くの折衷学派、考証学派の人々を生み出している。

このうち最も独創的なのは古学派で、(e)素行においては古学と士道との結合がなされ、仁斎においては『大学』・『中庸』のテキスト批判によって朱子の四書中心主義の一角が崩され、[12]を宇宙第一の書として『孟子』を通じての『論語』理解という立場に立って、(f)仁は愛であるという考えの下に愛の人間学ともいべき思想が形成された。徂徠において儒教は政治思想として再確認され、仁斎のように孔子を尊崇するのではなく、[13]こそ聖人として崇拜されるべき人とされ、この聖人たちの言行を記した古典を正確に理解することが儒教研究の課題とされた。徂徠は時代によってことばは変化するという前提に立って、古典を古典として当時のことばの意味を通じて理解する必要を説き、古文辞学を提唱した。

問1 文章中の空欄[11]～[13]に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの～のうちから一つずつ選べ。

- | | | | |
|--------|---|--------|---------|
| [11] | { | ? 園 | 古 義 |
| | | 堀 川 | 崎 門 |
| [12] | { | 大 学 | 孟 子 |
| | | 論 語 | 中 庸 |
| [13] | { | 朱熹らの先人 | 堯舜らの先王 |
| | | 老荘らの道家 | 守仁らの心学者 |

問2 空欄[A]に入る文として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

[14]

仏教に対しては世界観が共通するとして好意的、その反面神道に対しては批判的
仏教に対しては世界観が共通するとして好意的、同様に神道に対しても好意的
仏教に対しては人倫を軽視するものとして批判的、その反面神道に対しては好意的
仏教に対しては人倫を軽視するものとして批判的、同様に神道に対しても批判的

問3 下線部(a)に関連して、下の藤原惺窩の書いた文中の空欄に共通して入る語として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[15]

一に曰く、それ天道なる者は[]なり。この[], 天にあり、未だ物に賦せざるを天道といふ。この[], 人心に具(そな)はり、未だ事に応ぜざるを性といふ。性もまた[]なり。

理 気 地 人

問4 下線部(b)林羅山の著作として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

[16]

『講孟余話』

『春鑑抄』

『折りたく柴の記』

『語孟字義』

問5 下線部(c)中江藤樹の『翁問答』の中の文として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[17]

父母の敬愛するを本とし、おしひろめて余の人倫を敬愛し、道をおこなふを孝と云、順徳といふ。

孝は我が邦固有の道德にして、夙(つと)に発達せるものなり。しこうして我が邦に於いては国体上、忠孝一致にして親に孝を尽くすは君に忠となり、君に忠たるは親に孝たり。二にして一なり。

孝は太虚をもつて全体として、万劫をへてもおはりなくはじめなし。孝のなき時なく孝のなきものなし。

てんにありてはてんのみちとなり、地にありては地のみちとなり、人にありては人のみちとなるもの也。元来名はなけれども、衆生にをしへしめさんために、むかしの聖人、その光景をかたどりて孝となづけ給ふ。

問6 下線部(d)貝原益軒の著作として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

[18]

『養生訓』

『町人囊』

『夢の代』

『開目抄』

問7 下線部(e)山鹿素行に関連して、彼の説く士道の説明として最も適当なものを、次の

~ のうちから一つ選べ。[19]

毎朝毎夕、心をただして死を思い死を決すること。

徳によって農工商の上に立ち、専ら人倫の道を追求すること

武芸に励むとともに学問に励むこと。

名を重んじ恥を知り、主君に献身すべきこと。

問8 下線部(f)伊東仁斎の人間学に関連して、仁斎が人と人の理想的な和合である仁を実

現するために、他者に対するときに必要なとする徳として最も適当なものを、次の

~ のうちから一つ選べ。[20](2007年センター本試験より)

愛 敬

忠 信

慈 悲

義 理

第3問 次の文章を読み下の問い(問1～問2)に答えよ。(配点 8)

賀茂真淵は、『万葉集』に表現された素朴で素直な人間の心を[21]にとらえ、この高く直き心をもった古代人に、当時の人々が失ってしまった人間の理想をみようとした。

(a) 本居宣長は、古代人のことばの意味と用法を明らかにして『源氏物語』や『古事記』を解釈し、その世界に生きた人間の生き方を学ぼうとした。彼によれば、儒教的なものの考え方に染まる以前の日本人は、もののあはれを知る人間でみちていたという。他者に対する[22]をもった人を、彼は「もののあはれを知る人」といい、また「心ある人」とよんだ。自然の美しさや、他人の苦しみを理解できない人などは、彼にいわせれば「心なき人」ということになる。

このように、作為的な道德規範とは異なり、人間の感性に内在する自然の美を追究することにより、真なるもの、善なるものを発見しようとするところに、国学的ヒューマンズムの特質がみられる。国学の思想は、都市の町人層から地方の農民層にいたるまで、広範囲に庶民の教養を形成していった。ただしその後の国学は、こうした人間追究の側面よりも、平田篤胤のように[23]をとらえ、政治的・宗教的色彩を強めたものが主流となり、宣長が確立した人間学の側面が希薄になっていった。

問1 文章中の空欄[21]～[23]に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの～のうちから一つずつ選べ。

- | | | | |
|--------|---|--------|--------|
| [21] | { | たおやめぶり | からくにぶり |
| | | ますらをぶり | 漢意 |
| [22] | { | 美的魅力 | 思考能力 |
| | | 性的魅力 | 共感能力 |
| [23] | { | 垂加神道 | 度会神道 |
| | | 復古神道 | 唯一神道 |

問2 下線部(a)本居宣長の著作として**適当でないもの**を、次の～のうちから一つ選べ。

[24]

『源氏物語玉の小櫛』

『古事記伝』

『玉勝間』

『国意考』

第4問 次の文章を読み下の問い(問1～問6)に答えよ。(配点 12)

きびしい身分秩序の中で低く位置づけられていた町人たちは、やがてその経済力を背景にみずからの社会的自覚を深めるようになってきた。(a)近松門左衛門や井原西鶴は上方を中心に隆盛をみた町人文芸の作者である。このころの元禄文化は、現世を「浮き世」とみてそのまま肯定しようとする[25]主義の傾向を示している。

(b)石田梅岩は、みずからの商人としての体験をふまえ、神道・儒教・仏教、さらには老荘の教えもとり入れながら、独自の処世哲学である心学(石門心学)を創始している。心学とは、その名の示すように、おのれの本来の「心を知る」ことを目的としていた。

また、農民の立場に立った (c)安藤昌益は、当時の農民の苦しい生活を見て、すべての人がみな直接田を耕して(直耕)生活するという平等社会である自然世を理想とした。(d)二宮尊徳は、多くの農村復興や開拓事業にたずさわり、農業とは、おのずからの働きとしての天道とみずからの働きとしての人道とがあいまって成り立つものと説いた。それぞれ農業という営みを新たに位置づけなおしている。

問1 文章中の空欄[25]に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

[25]

[理想	独断
	禁欲	現実

問2 下線部(a) 近松門左衛門の作品として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[26]

曾根崎心中 東海道中膝栗毛 好色一代男 六本木心中

問3 下線部(b)に関連して、石田梅岩の思想の記述として**適当でないもの**を、次の ~ の中から一つ選べ。[27]

儉約は正直の徳と分かちがたく結びつくもので、物と人を生かす原理である。
売利を得るのは商人の道であり、商人の売利は士の禄と同じである。
満足するということを知り、自分の持ち分に満足して生きることが大切である。
士農工商の身分の区別は、宇宙の秩序と同じように天から与えられた秩序である。

問4 下線部(c)に関連して、安藤昌益の天地自然のとらえ方として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[28](1988 年共通一次本試験より)

その背後に存する神によって操作されている奇(くす)しく妙(たえ)なるもの。

そこに人力が加わらなければ、太古の荒地に帰してしまうもの。

それ自体が一大生命であり、自ら万物を生成して尽きることがないもの。

そこに貫徹するからくりの法則を明らかにすることによって、人がどのようにでも操作しうるもの。

問5 下線部(d)に関連して、二宮尊徳の言葉として適当でないものを、次の ~ の中から一つ選べ。[29]

道を盗むを「盗」と云い、財を盗むを「賊」と云う。上に立ちて不耕貪食し天道を盗む、これ盗根なり。この根より枝葉の賊下に生(は)ゆ。

分を定め、度を立つるは、我が道の本源なり。分定まり、度たてば、すなはち分外の財(余剰の財)生ず。……すなはち以て国を興し民を安ずべきなり。

安逸を戒め、欲する処の美食美服を押さへ、分限の内を省みて有余を生じ、他に譲り向來(さき)に譲るべし、これを人道といふなり。

我が教は、徳を以て徳に報うの道なり。天地の徳より、君の徳、親の徳、先祖の徳、その蒙るところ、人々みな広大なり。これに報うに我が徳行を以てするをいふ。

問6 吉田松陰の言葉として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[30]

今の日本国人を文明に進むるはこの国の独立を保たんがためのみ。

東洋道徳、西洋芸術、精粗遺さず表裏兼該し、因りてもって民物を沢し国恩に報ゆる。

堯舜孔子の道を明らかにし、西洋器械の術をつくさば、何ぞ富国にとどまらん。

今の幕府も諸侯も最早酔人なれば扶持の術なし。草莽崛起の人を望む他頼みなし。

第5問 次の文章を読み下の問い(問1～問7)に答えよ。(配点 20)

明六社は明治初年の開明的知識人の結社である。1873年7月アメリカから帰国した [31] が、西洋の知識人のように ソサエチー を組織して、協力して学問を進め、公衆を啓蒙することを提案、同年秋には、(a)西村茂樹、津田真道、西周、中村正直、加藤弘之、箕作秋坪、(b)福沢諭吉、杉亨二、箕作麟祥が加わって活動を始め、この年明治6年にちなんで明六社と称した。

明六社発足時の社員の多くが下級武士や庶民の出身であり、また大方がかなり早く洋学に志し、その際しばしば家を捨て藩を脱する行為をあえてしていた。彼らはこの洋学の知識によって幕府の開成所や外国方に登用され、また (c)維新前に使節や留学生として欧米諸国に渡った。彼らはこのように西欧の衝撃に動揺する日本の、社会的にも思想的にもマージナルな背景のもとで思想を形成し、旧体制の秩序とイデオロギーから同時代ではいち早く離脱した新しいタイプの知識人だった。

1889年発布の憲法は信教の自由を認めたが、同時に明治政府の体制強化は、それまで (d)欧化主義に支えられて順調に伸びてきたキリスト教を抑えることとなった。教育勅語発布に際して91年初めの内村鑑三の不敬事件、(e)教育と宗教の衝突事件が起こった。これを契機に内村は宣教師からも離れて、日本人独自の信仰を求める [32] 主義を唱えるに至った。やがて明治政府の国家主義と、急速な産業化のもたらす害悪が人々に自覚されるに至り、安部磯雄、[33]らが社会民主党を起こしたが(1901)、彼らは活動的なキリスト教徒であった。

問1 文章中の空欄 [31] ~ [32] に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの ~ のうちから一つずつ選べ。

- | | | | |
|--------|---|--------|--------|
| [31] | [| 森 有礼 | ジョン万次郎 |
| | | 新島 襄 | 榎本 武揚 |
| [32] | [| 無教会 | 無政府 |
| | | 福 音 | 国 粹 |
| [33] | [| 新渡戸 稲造 | 植村 正久 |
| | | 幸徳 秋水 | 片山 潜 |

問2 下線部(a)西村茂樹に関する記述として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[34]

幕府派遣留学生としてオランダに留学。『百一新論』『心理学』などを著して、哲学、理性、主観等の哲学用語を考案し、近代哲学の最初の移植者となった。

幕府の英国留学生取締役を命ぜられイギリスに留学。幕府瓦解により帰国し、サムエル・スマイルズの“Self Help”を『西国立志編』として、ミルの“On Liberty”を『自由之理』として訳刊した。

『国体新論』を著すなど、天賦人權論に立脚した平等思想の啓蒙に努めたが、自由民権運動の進展に対応するかたちで、進化論の影響を受けて、人權思想の否認に傾斜した。

明六社社員の中では最も保守派に位置し、急激な西欧文明の流入と儒教道徳の衰退を憂え、『日本道徳論』出版して欧化政策を批判するとともに忠孝道徳の高揚を力説した。

問3 下線部(b) 福沢諭吉の思想の記述として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[35]

独立自尊の精神こそ文明を支える基軸であり、国民一人一人が独立して国家の命運を担わなければならない。

天賦人權を人民の手に取り戻すため、官民の調和を破棄して急進的に日本の近代化を推進すべきである。

欧米列強に対抗するため、挙国一致の体制でアジアの合同を推し進めて大アジア主義を実現すべきである。

門閥制度を打破し封建社会からの脱出を図るために、東洋道徳と西洋芸術をともに兼ね備える学問をなすべきである。

問4 下線部(c)に関連して、維新後にフランスに留学した中江兆民の『三酔人経綸問答』の中で展開された考え方を述べた文として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[36] 1999年センター本試験より

為政者が人民に権利を恵み与えることはありえないから、人民は為政者から権利を獲得するための闘争をしなくてはならない。

為政者は人民に権利を恵み与えるべきであり、また一方、人民はそれを大切に守り、自己の義務を果たしていかななくてはならない。

為政者が人民に恵み与えた権利であっても、人民はそれを育てていってその権利を実質的なものに変えていかななくてはならない。

為政者は人民に恵み与えた権利を実質的なものにしていくために、国家主義的な教育をすすめる、人民を啓蒙していかななくてはならない。

問5 下線部(d)に関連して、キリスト教の影響から平民的欧化主義の立場に立っていた人物として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[37]

陸羯南 徳富蘇峰 志賀重昂 三宅雪嶺

問6 下線部(e) 教育と宗教の衝突事件に関して、次の文のような立場に立っていた人物として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[38]

若し教徒にして其の宗教に伴う所の外国風俗を尊崇し、敢て我が国民の性格に破壊的攻撃を加うるあらば、少なくとも教育社会はこれが排除を努めざるべからず。

(『教育と宗教』)

井上哲次郎 植村正久 吉野作造 木下尚江

問7 日本独特の哲学を展開した思想家の西田幾多郎と和辻哲郎の考えとして最も適当なものを、次の ~ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。西田幾多郎については[39]に、和辻哲郎については[40]にこたえよ。

われわれが美妙なる音楽に心を奪われ、物我相忘れ、天地ただ嘯唳(りゅうりょう：楽器などの音がさえわたっている様子)たる一楽声のみなるがごとく、この刹那いわゆる真実在が現前している。

人民の意識的行動に基づく社会革命を行い、相互扶助という進化論的自然認識を社会に適用しつつ、自由な共同体の連合を基礎に都市と農村を有機的に統一し、協同化社会を実現する。

「人間」は孤立した個人的存在ではなく、また機械の一部のような社会に埋没した存在でもない。「人間」は個人的存在であると同時に社会的存在である。

日本人の神観念のうえには外来神の要素があり、それは「まれびと」として位置づけることができる、このような「まれびと信仰」に基づいて日本文学が発生した。

肉体と知能と靈魂、これら三のものをばのびるところまでのびさして行くがため、必要な物資を得ておらぬ者があれば、それらの者はすべてこれを貧乏人と称すべきである。

第 6 問 次の文章を読み下の問い（問 1～問 9）に答えよ。（配点 20）

中世のスコラ哲学においてはもともと教会の教義は絶対的なものと考えられ、知識の立場から教義に反するような結論を出すことは認められないはずであった。しかし 14 世紀、唯名論者ウィリアム・オッカムなどによって [41] が説かれるようになると、事情は変わってきた。確かにウィリアム・オッカムが意図したように、これによって信仰の絶対性は守られるかもしれない。だが、逆に知識の立場からすれば、もはや教義を顧慮することなく、自由にどんな結論を導いても差し支えないということにもなるであろう。こうして、キリスト教の教義にとらわれることなく自由に考えてゆこうとする近代的精神が生じてくる。

しかしこのような近代的精神は一挙にして開花したわけではない。ルネサンスの時代である。ルネサンス期の哲学は、まずギリシア・ローマの古典の復興から始まる。これがいわゆる人文主義である。人文主義の中心地となったのはイタリアであるが、(a)ペトルルカなどはその代表的な人であった。このような (b)人文主義的運動から、やがて内容的にも中世哲学の枠を超えた新しい哲学が生じてくるようになる。中世においてはまったく超越的な存在者と考えられていた自然のうちにも存するものであると考えられるようになったという点に、(c)新しい時代の思想の現れを読み取ることができるであろう。

フランシス・ベーコンは、新しい学問は、直接自然を探究することによって、自然を支配し人類の生活を改善していくような知識を追求するものでなければならないとした。彼は、そのような知識を得るためには、まず自然をありのままに観察することが大切であるとし、そのためには、わたしたちの観察をゆがめる多くの (d)イドラを排除しなければならないと説いた。

なお、近代的精神をもたらすのに力のあったものとして、われわれはルターやカルバンの宗教改革を忘れてはならない。1515 年、教皇レオ 10 世はローマのサン・ピエトロ教会の建設のために贖宥を告示し、ドイツでの贖宥状販売を許した。(e)ルターは、人々が贖宥状を購入することによって、あらゆる罰と罪責から解放され、確実に救済される、と信じたことに宗教的危機を感じた。金銭による贖宥状の購入という安易な行為には、「悔い改め」というキリスト者の基本的行為がまったく無視されていたからである。宗教改革運動の引き金となった『[42]』は、ローマによるドイツの財政的搾取を問題とただけではなく、新しい信仰原理の提示であった。

問 1 文章中の空欄 [41] [42] に入れるのに最も適当なものを、次のそれぞれの ~ のうちから一つずつ選べ。

- | | | | |
|--------|---|----------|--------------|
| [41] | [| 信仰の終焉 | 信仰と知識の調和 |
| | | 知識の終焉 | 信仰と知識との分離 |
| [42] | [| 95 カ条の論題 | キリスト教綱要 |
| | | ドイツ国民に告ぐ | 人間の尊厳についての演説 |

問2 下線部(a)ペトルルカについての記述として、最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[43]

俗語で書かれた『神曲』ではベアトリーチェという女性に対する愛を、言葉の持つ美しい音楽的な響きを生かした流麗な格調でうたいあげた。

『デカメロン』の中で、聖職者の墮落ぶりや肉体の欲望をたたえる話を描き、ローマ教皇庁の禁書目録に加えられた

キケロやアウグスティヌスなどの古典研究に没頭し、キリスト教と古代ローマ文化の調和・統一をめざした。

人間の尊厳の根拠を自らの本性を自ら形成する自由意志にみとめ、あらゆる思想と信仰の調和をめざした。

問3 下線部(b)人文主義運動に関連して、16世紀最大の人文主義者と言われるエラスムスに関する記述として、最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[44]

ヘンリー8世の外交使節となって大陸に渡り、その余暇に『ユートピア』を書いたが、ヘンリー8世のカトリック教会からの分離に従わず、反逆罪のかどで処刑された。

プラトンアカデミーで、ギリシア語古典手稿の研究翻訳に着手し、プロクロス、ヘシオドスの神学的作品などを訳した。

現実世界の対立を、その底を貫いて存在する同一性の自覚によって融和させようと試みる哲学的平和を主唱し、この理想を実行に移すべく、全世界から自費で哲学者、神学者を招いてローマで世界哲学会議を企画した。

痴愚女神という存在を着想し、人間のあらゆる営為の根源にその働きがあることを女神の自画自讃の長広舌という形式で著作化して権威者を風刺した。

問4 下線部(c)に関連して、イタリアのピサに生まれ、慣性の法則や落体の法則を発見するとともに、宇宙という書物が数学の言葉で書かれているということを主張した人物として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[45]

ケプラー コペルニクス ニュートン ガリレイ

問5 近代自然科学者たちの世界認識として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[46](1999年センター本試験より)

神が創造した自然世界の法則を探究することによって神の意志を知ることができる
キリスト教の信仰の束縛から解放されれば新しい科学的な世界観を確立できる
神は本質的に自然と一致しているのであり、世界を創造したわけではない
神は自らの本質である自由を実現する過程として世界の歴史を動かしている

問6 下線部(d)に関して、下の文はベーコンの著作の中でのイドラの説明であるが、空欄に入る最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[47]

最後に、哲学の種々の学説や証明の誤った規則から人々の魂に入り込んだイドラがあって、われわれはそれを[]と名付ける。

市場のイドラ 劇場のイドラ 洞窟のイドラ 種族のイドラ

問7 ベーコンに続くイギリス経験論の思想家の中で、人間の心を「タブラ・ラサ」と説いた人物名とその思想の組合せとして、最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[48]

バークリーは、人間の良識はこの世で最も公平に分配されていると考えた。

ロックは、人間の良識はこの世で最も公平に分配されていると考えた。

バークリーは、あらかじめ感覚の中にあるものは、理性の中にあり得ないとした。

ロックは、あらかじめ感覚の中にあるものは、理性の中にあり得ないとした。

問8 下線部(e)ルターの思想の説明として**適当でないもの**を、次の ~ のうちから一つ選べ。[49]

罪深い人間を救うことができるのは、ただ神の恩寵だけであり、恩寵によって可能になった信仰のみであると考え、救いのために善行は必要がないと考えた。

職業は神の召命であり、世俗的な職業に励んで禁欲的な生活を送ることが、地上における神の栄光をあらわすことだと考え、そこに救済予定の確信を求めた。

教会の制度によって定められた聖職者と平信徒の区別は重要ではなく、すべての人は自己の内心の信仰を通して、等しく神に近づくことができると考えた。

教皇の権力やキリスト教の伝統には一切権威を認めず、聖書に書かれたことのみを規範的権威と認めるべきだと考え、新約聖書をドイツ語訳した。

問9 プロテスタントの成立によってあらわれた、新しい人間観を指す言葉として、最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[50]

職業人 普遍人 遊戯人 経済人

問題は以上です。